2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔米国基準〕（連結）

2026年11月9日

上場会社名　　オリックス株式会社　　上場取引所　　東
コード番号　　8591　　ＵＲＬ　https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/
代表者　　（役職名）　代表執行役社長　　（氏名）高橋　英丈
問合せ先責任者　（役職名）　グループ経理統括部長　　（氏名）林　蓮花　　ＴＥＬ　03-3435-3000（代表）
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（1）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益 ※2		営業利益 ※2		継続事業からの税引前中間純利益 ※2		当社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,673,875	9.6	239,520	3.9	1,117,880	195.0	856,218	215.8
2026年３月期中間期	1,527,599	11.2	230,424	25.3	378,951	55.3	271,096	48.2

（注）1. 当社株主に帰属する中間包括利益　2027年３月期中間期 824,988百万円　(68.9%)　2026年３月期中間期 488,394百万円　(715.4%)

2. 当社は、当社の連結子会社であったオリックス銀行株式会社（以下、「オリックス銀行」）の譲渡の決定に伴い、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書205-20（財務諸表の表示-非継続事業）に従い、オリックス銀行の事業を売却目的保有に分類するとともに、非継続事業に分類しています。当該分類に伴い、オリックス銀行の事業にかかる利益を継続事業から区分して表示した結果、2027年３月期中間期の営業収益、営業利益および継続事業からの税引前中間純利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しています。また、2026年３月期中間期の営業収益、営業利益および継続事業からの税引前中間純利益についても組替再表示しています。非継続事業の詳細については、２．中間連結財務諸表等（８）「非継続事業に関する注記」をご参照ください。

	１株当たり当社株主に帰属する中間純利益	潜在株式調整後１株当たり当社株主に帰属する中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	785.16	783.50
2026年３月期中間期	240.42	239.91

（2）連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	15,606,595	5,171,623	5,093,303	32.6
2026年３月期	18,002,776	4,573,068	4,482,500	24.9

（注）1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。
2. 株主資本比率は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	93.76	－	62.34	156.10
2027年３月期	－	113.56			
2027年３月期（予想）			－	－	187.36

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2027年３月期の連結業績においては、当社が持分法適用会社であるTB投資事業有限責任組合を通じて認識する、株式会社東芝（本社：神奈川県川崎市、社長：島田 太郎）によるキオクシアホールディングス株式会社（本社：東京都港区、社長：太田 裕雄、以下「キオクシア」）の株式売却損益および株式評価損益に係る税後利益（以下「当該損益」）が計上されています。当該損益は、多額であるうえ、キオクシア株式の株価により今後変動し、また当社への現金の回収を伴いません。このため、2027年３月期の配当方針は、１株当たりの配当金を、当該損益の税後換算額を当期純利益から控除した調整後当期純利益に基づき算出される調整後EPSに39%を乗じた額もしくは１株当たり通期配当金156.10円のいずれか高い方としています。これに基づき、第２四半期末の配当金は、当中間連結会計期間の当期純利益856,218百万円から当該損益の税後換算額538,689百万円を控除した調整後当期純利益317,529百万円を基に算出した調整後EPSに39%を乗じた113.56円としました。

3. 2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%
2027年３月期	530,000	18.5

（注）直近に公表されている連結業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　－社　（社名）、除外　1社　（社名）オリックス銀行株式会社

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,124,106,624株	2026年３月期	1,124,106,624株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	44,564,472株	2026年３月期	22,484,702株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,090,177,783株	2026年３月期中間期	1,127,416,302株

(注)2027年３月期中間連結会計期間末および2026年３月期連結会計年度末において、役員報酬ＢＩＰ信託(役員報酬のうち、将来支給する株式報酬に充当するもの)として保有する当社株式、それぞれ3,308,688株および3,035,102株は、期末自己株式数に含めていませんが、１株当たり情報の算出において控除する自己株式として含めています。

※第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいていますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらの将来に関する記述に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

将来に関する記述と異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社が関東財務局長に提出しています有価証券報告書の「事業等のリスク」、アメリカ合衆国証券取引委員会（ＳＥＣ）に提出していますForm 20-Ｆによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」に記載されていますが、これらに限られるものではありません。

【添付資料の目次】

１．当中間決算の概況 …… 2
（１）連結経営成績 …… 2
（２）連結財政状態 …… 5
２．中間連結財務諸表等 …… 6
（１）中間連結貸借対照表 …… 6
（２）中間連結損益計算書 …… 8
（３）中間連結包括利益計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）会計方針の変更 …… 9
（７）セグメント情報 …… 10
（８）非継続事業に関する注記 …… 14
（９）重要な後発事象 …… 15

１．当中間決算の概況

（１）連結経営成績

中間連結会計期間の経営成績

		前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減	
				金額	率（%）
営業収益 ※2	（百万円）	1,527,599	1,673,875	146,276	10
営業費用 ※2	（百万円）	1,297,175	1,434,355	137,180	11
継続事業からの税引前中間純利益 ※2	（百万円）	378,951	1,117,880	738,929	195
当社株主に帰属する中間純利益	（百万円）	271,096	856,218	585,122	216
１株当たり当社株主に帰属する中間純利益（基本的）	（円）	240.42	785.16	544.74	227
（希薄化後）	（円）	239.91	783.50	543.59	227
ＲＯＥ（株主資本・当社株主に帰属する中間純利益率、年換算）	（%）	12.7	35.8	23.1	―
ＲＯＡ（総資本・当社株主に帰属する中間純利益率、年換算）	（%）	3.15	10.19	7.04	―

（注） 1. ＲＯＥは、米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を用いて算出しています。
2. 当社は、当社の連結子会社であったオリックス銀行の譲渡の決定に伴い、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書205-20（財務諸表の表示-非継続事業）に従い、オリックス銀行の事業を売却目的保有に分類するとともに、非継続事業に分類しています。当該分類に伴い、オリックス銀行の事業にかかる利益を継続事業から区分して表示した結果、当中間連結会計期間の営業収益、営業費用および継続事業からの税引前中間純利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しています。また、前中間連結会計期間の営業収益、営業費用および継続事業からの税引前中間純利益についても組替再表示しています。非継続事業の詳細については、２．中間連結財務諸表等（８）「非継続事業に関する注記」をご参照ください。

業績総括（2026年４月１日から2026年９月30日まで）

当中間連結会計期間の営業収益は、サービス収入や有価証券売却・評価損益および受取配当金、商品および不動産売上高の増加などにより、前年同期の1,527,599百万円に比べて10%増の1,673,875百万円になりました。

営業費用は、販売費および一般管理費、商品および不動産売上原価等が増加したため、前年同期の1,297,175百万円に比べて11%増の1,434,355百万円になりました。

また、持分法投資損益は、一部の持分法投資に減損を計上したものの、一部の持分法適用先からの取込損益が増加したことにより809,610百万円になりました。子会社・持分法投資売却損益および清算損は前年同期に比べて30%減の68,750百万円になりました。

以上により、当中間連結会計期間の継続事業からの税引前中間純利益は、前年同期の378,951百万円に比べて195%増の1,117,880百万円、当社株主に帰属する中間純利益は、前年同期の271,096百万円に比べて216%増の856,218百万円になりました。

セグメント別動向

当中間連結会計期間のセグメント利益は、前年同期に比べて188%増の1,147,389百万円となりました。

2026年４月１日より、経営上の最高意思決定者が経営資源の配分や業績評価に使用するセグメントを変更したため、当社のセグメントを「APAC」、「インフラ」、「欧米」、「保険」へと再編しております。各セグメントの事業内容の詳細については、２．中間連結財務諸表等（７）「セグメント情報」をご参照ください。

当社は、2026年４月27日に連結子会社であるオリックス銀行の全持分を株式会社大和ネクスト銀行へ譲渡することを決定したことに伴い、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書205-20（財務諸表の表示-非継続事業）に従い、従来継続事業であったオリックス銀行の事業を当中間連結会計期間より非継続事業に分類しています。セグメント情報は当該非継続事業を含まない継続事業のみの金額を表示しております。非継続事業の詳細については、２．中間連結財務諸表等（８）「非継続事業に関する注記」をご参照ください。

また、これらの変更に伴い、前中間連結会計期間および前連結会計年度末のセグメント情報を組替再表示しています。

各セグメントの当中間連結会計期間の動向は以下のとおりです。

セグメント利益	前中間連結会計期間（百万円）	当中間連結会計期間（百万円）	増減（百万円）	主な増減内容
APAC	125,705	916,414	790,709	［＋］東芝関連の投資にかかる持分法投資損益（キオクシア株式の売却評価益の3か月ラグでの取込等） ［＋］SGKホールディングスの譲渡による売却益 ［－］中国水務（中国で水道事業を行う投資先）に対する減損
インフラ	201,008	82,079	△118,929	［－］前期におけるGreenkoおよびOrmatの売却益・評価益の反動 ［－］前期におけるホテルユニバーサルポートヴィータの売却益の反動 ［＋］Avolon社からの取込利益
欧米	20,276	91,811	71,535	［＋］ORIX USAにおけるPE投資の評価益 ［＋］ORIX Europeにおけるマネジメントフィー収入
保険	50,856	57,085	6,229	［＋］生命保険事業における保険料収入および運用益
セグメント利益 合計	397,845	1,147,389	749,544	
本社部門の損益	△23,140	△35,559	△12,419	
非支配持分および償還可能非支配持分に帰属する税引前中間純利益	4,246	6,050	1,804	
継続事業からの税引前中間純利益	378,951	1,117,880	738,929	
非継続事業からの税引前中間純利益	12,531	125,372	112,841	

セグメント資産	前連結 会計年度末 （百万円）	当中間 連結会計 期間末 （百万円）	増減 （百万円）	主な増減内容
APAC	4,720,861	5,349,825	628,964	［＋］東芝関連の持分法投資 ［－］SGKホールディングスの譲渡による諸資産 ［－］中国水務に対する減損
インフラ	3,575,072	3,626,329	51,257	［＋］航空機リース事業におけるオペレーティング・リース投資や持分法投資 ［＋］海外エネルギー事業における事業用資産
欧米	2,741,031	2,750,616	9,585	［＋］ORIX USAにおける営業貸付金やオペレーティング・リース投資 ［＋］ORIX Europeにおける投資有価証券 ［－］ORIX USAにおけるPE投資の売却
保険	3,198,270	3,207,116	8,846	
セグメント資産 合計	14,235,234	14,933,886	698,652	
本社部門の資産	2,966,812	3,045,109	78,297	
非継続事業にかかる売却目的保有資産	3,195,402	－	△3,195,402	
内部取引消去	△2,394,672	△2,372,400	22,272	
連結財務諸表上の総資産	18,002,776	15,606,595	△2,396,181	

（２）連結財政状態

資産、負債、株主資本の状況

	前連結会計年度末	当中間連結会計期間末	増減	
			金額	率（%）
総資産（百万円）	18,002,776	15,606,595	△2,396,181	△13
（うち、セグメント資産）※3	14,235,234	14,933,886	698,652	5
負債合計（百万円）	13,378,965	10,383,369	△2,995,596	△22
（うち、長短借入債務）※3	6,343,295	6,102,486	△240,809	△4
株主資本（百万円）	4,482,500	5,093,303	610,803	14
１株当たり株主資本（円）	4,080.24	4,732.53	652.29	16

（注）1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。
2. １株当たり株主資本は、当社株主資本合計を用いて算出しています。
3. 当社は、当社の連結子会社であったオリックス銀行の譲渡の決定に伴い、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書205-20（財務諸表の表示-非継続事業）に従い、オリックス銀行の事業を売却目的保有に分類するとともに、非継続事業に分類しています。当該分類に伴い、オリックス銀行の事業にかかる過年度の資産および負債をそれぞれ「非継続事業にかかる売却目的保有資産」および「非継続事業にかかる売却目的保有負債」として区分表示した結果、前連結会計年度末のセグメント資産および長短借入債務は、非継続事業を除いた継続事業の金額に組替再表示しています。非継続事業の詳細については、２．中間連結財務諸表等（８）「非継続事業に関する注記」をご参照ください。

総資産は、持分法投資等が増加したものの、非継続事業にかかる売却目的保有資産等が減少したため、前連結会計年度末に比べて13%減の15,606,595百万円になりました。また、セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて５%増の14,933,886百万円になりました。

負債については、非継続事業にかかる売却目的保有負債等が減少したため、前連結会計年度末に比べて22%減の10,383,369百万円になりました。

当社株主資本は、前連結会計年度末に比べて14%増の5,093,303百万円になりました。

２．中間連結財務諸表等

（１）中間連結貸借対照表（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 （2026年３月31日）	当中間 連結会計期間末 （2026年９月30日）		前連結会計年度末 （2026年３月31日）	当中間 連結会計期間末 （2026年９月30日）
現金および現金等価物	1,015,359	1,127,881	短期借入債務	544,135	561,590
使途制限付現金	114,129	118,872	預金	2,330	6,603
リース純投資	1,247,491	1,230,839	支払手形、買掛金および未払金	354,995	312,537
営業貸付金	1,488,263	1,534,919	保険契約債務および保険契約者勘定	1,943,710	1,953,856
（公正価値オプションを選択し、公正価値評価した下記の金額を含む）			（公正価値オプションを選択し、公正価値評価した下記の金額を含む）		
2026年３月31日　78,020百万円			2026年３月31日　138,027百万円		
2026年９月30日　60,859百万円			2026年９月30日　145,670百万円		
信用損失引当金	△76,342	△62,646	未払法人税等	684,072	938,096
オペレーティング・リース投資	2,152,820	2,298,752	長期借入債務	5,799,160	5,540,896
投資有価証券	3,142,498	2,972,743	その他負債	1,107,475	1,069,791
（公正価値オプションを選択し、公正価値評価した下記の金額を含む）			非継続事業にかかる売却目的保有負債	2,943,088	－
2026年３月31日　39,796百万円			（負債合計）	13,378,965	10,383,369
2026年９月30日　51,788百万円					
（下記の売却可能負債証券の償却原価と信用損失引当金を含む）			償還可能非支配持分	50,743	51,603
2026年３月31日			契約債務および偶発債務		
償却原価　3,230,567百万円					
信用損失引当金　△3,505百万円					
2026年９月30日					
償却原価　3,368,877百万円					
信用損失引当金　△3,354百万円					
事業用資産	779,075	766,006			
持分法投資	1,304,073	2,071,044			
受取手形、売掛金および未収入金	495,080	431,948			
棚卸資産	269,187	280,237			
社用資産	189,279	175,832	資本金	221,111	221,111
営業権	773,592	750,078	資本剰余金	235,239	235,772
その他資産	1,912,870	1,910,090	利益剰余金	3,502,509	4,290,052
（公正価値オプションを選択し、公正価値評価した下記の金額を含む）			その他の包括利益累計額	605,110	573,880
			自己株式（取得価額）	△81,469	△227,512
2026年３月31日　1,163百万円			（当社株主資本合計）	4,482,500	5,093,303
2026年９月30日　555百万円			非支配持分	90,568	78,320
非継続事業にかかる売却目的保有資産	3,195,402	－	（資本合計）	4,573,068	5,171,623
資産合計	18,002,776	15,606,595	負債・資本合計	18,002,776	15,606,595

（注）1　その他の包括利益累計額内訳

	前連結会計年度末	当中間 連結会計期間末
未実現有価証券評価損益	△618,351	△730,364
保険契約債務割引率変動影響	715,382	799,262
金融負債評価調整	242	272
確定給付年金制度	31,953	40,643
為替換算調整勘定	469,262	454,137
未実現デリバティブ評価損益	6,622	9,930
	605,110	573,880

2　当社は、当社の連結子会社であったオリックス銀行の譲渡の決定に伴い、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書205-20（財務諸表の表示-非継続事業）に従い、オリックス銀行の事業を売却目的保有に分類するとともに、非継続事業に分類しています。当該分類に伴い、オリックス銀行の事業にかかる過年度の資産および負債をそれぞれ「非継続事業にかかる売却目的保有資産」および「非継続事業にかかる売却目的保有負債」として組替再表示しています。非継続事業の詳細については、（８）「非継続事業に関する注記」をご参照ください。

3　当中間連結会計期間より、その他資産に含めていた営業権を独立表示しています。この変更により、過年度の連結貸借対照表についても組替再表示しています。

（２）中間連結損益計算書（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業収益		
金融収益	137,708	143,964
有価証券売却・評価損益および受取配当金	41,673	79,643
オペレーティング・リース収益	309,624	325,344
生命保険料収入および運用益	299,708	312,741
商品および不動産売上高	206,964	233,268
サービス収入	531,922	578,915
営業収益計	1,527,599	1,673,875
営業費用		
支払利息	85,029	91,389
オペレーティング・リース原価	201,850	210,824
生命保険費用	220,628	226,760
商品および不動産売上原価	154,612	175,602
サービス費用	301,699	318,330
その他の損益	391	△2,696
販売費および一般管理費	321,039	401,965
信用損失費用	9,781	1,830
長期性資産評価損	1,397	10,300
有価証券評価損	749	51
営業費用計	1,297,175	1,434,355
営業利益	230,424	239,520
持分法投資損益	50,327	809,610
子会社・持分法投資売却損益および清算損	98,200	68,750
継続事業からの税引前中間純利益	378,951	1,117,880
法人税等	112,662	345,649
継続事業からの中間純利益	266,289	772,231
非継続事業		
非継続事業からの税引前中間純利益	12,531	125,372
法人税等	3,960	35,830
非継続事業からの中間純利益	8,571	89,542
中間純利益	274,860	861,773
非支配持分に帰属する中間純利益	3,691	5,835
償還可能非支配持分に帰属する中間純利益（△損失）	73	△280
当社株主に帰属する中間純利益	271,096	856,218

（注）　当社は、当社の連結子会社であったオリックス銀行の譲渡の決定に伴い、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書205-20（財務諸表の表示-非継続事業）に従い、オリックス銀行の事業を売却目的保有に分類するとともに、非継続事業に分類しています。当該分類に伴い、オリックス銀行の事業にかかる利益を継続事業から区分して表示するとともに、オリックス銀行の事業にかかる過年度の利益を組替再表示しています。非継続事業の詳細については、（８）「非継続事業に関する注記」をご参照ください。

（３）中間連結包括利益計算書（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	274,860	861,773
その他の包括利益（△損失）		
未実現有価証券評価損益	△88,065	△112,019
保険契約債務割引率変動影響	311,459	83,880
金融負債評価調整	188	30
確定給付年金制度	5,545	8,678
為替換算調整勘定	△4,988	△16,092
未実現デリバティブ評価損益	△7,093	3,408
その他の包括利益（△損失）　計	217,046	△32,115
中間包括利益	491,906	829,658
非支配持分に帰属する中間包括利益	3,043	5,778
償還可能非支配持分に帰属する中間包括利益（△損失）	469	△1,108
当社株主に帰属する中間包括利益	488,394	824,988

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）会計方針の変更

該当事項はありません。

（７）セグメント情報（米国会計基準）

当社の経営上の最高意思決定者であるグループＣＥＯは、以下に報告されている各事業セグメントの当社株主に帰属する税引前当期純利益に相当する額を用いて、定期的に経営資源の配分の決定や業績の評価を行っています。

2026年４月１日より、経営上の最高意思決定者が経営資源の配分や業績評価に使用するセグメントを変更したため、当社のセグメントを「APAC」、「インフラ」、「欧米」、「保険」へと再編しております。この変更に伴い、前中間連結会計期間および前連結会計年度末のセグメント情報を組替再表示しています。

各セグメントの事業内容は以下のとおりです。

APAC：
APACセグメントでは、日本およびアジア・豪州において、法人顧客向けのビジネスソリューション提供および企業投資を行っています。
具体的には、リース、貸付、各種ファイナンス等の金融サービス事業、生命保険販売、不動産仲介、Ｍ＆Ａ仲介等のサービス事業、自動車リースおよび車両管理事業、電子測定器・ＩＣＴ関連機器・変圧器等のレンタル事業ならびに国内外における企業投資を行っています。

インフラ：
インフラセグメントでは、社会・産業基盤となる資産の開発・運営およびサービス提供に関する事業を行っています。
具体的には、再生可能エネルギー発電事業、電力小売事業および廃棄物処理事業等の環境エネルギー関連事業、不動産を対象とする投資事業およびアセットマネジメント事業、住宅関連事業、ホテル・旅館等の運営事業ならびに空港その他の公共インフラの運営事業を行っています。また、航空機および船舶を対象とする投資事業、アセットマネジメント事業および仲介事業を行っています。

欧米：
欧米セグメントでは、米国および欧州を中心に、投融資、資産運用およびアドバイザリーに関する事業を行っています。
具体的には、法人向けファイナンス、不動産ファイナンス、不動産投資、債券投資、資産評価、プライベートエクイティ投資等の投資・金融関連事業および株式・債券その他の資産を対象とするアセットマネジメント事業を行っています。

保険：
保険セグメントでは、保険商品の開発、販売および資産運用に関する事業を行っています。

セグメント情報の会計方針は、税金費用、非支配持分に帰属する中間純利益、償還可能非支配持分に帰属する中間純利益の取り扱いを除き、連結財務諸表の会計方針と概ね同一です。また、セグメント情報では継続事業からの当社株主に帰属する税引前中間純利益に相当する額で業績を評価しているため、非支配持分または償還可能非支配持分に帰属する中間純利益および税金費用はセグメント損益に含んでいません。各セグメントの営業活動に直接関連している人件費を含め、オリックスグループ全体で負担すべき費用を除く販売費および一般管理費の大部分は各セグメントに集計され、計上されています。また一部の支払利息や為替差損益（その他の損益に含まれる）など、経営者がセグメントの業績評価にあたって考慮していない損益はセグメント損益に含まず、本社部門の項目として扱っています。

各セグメントの資産は、一部の現金や本社資産などを除き、原則総資産を帰属させています。

2026年４月１日より、一部案件の利息費用の賦課方法を変更しています。これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント数値を組替再表示しています。

当社は、2026年４月27日に連結子会社であるオリックス銀行の全持分を株式会社大和ネクスト銀行へ譲渡することを決定したことに伴い、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書205-20（財務諸表の表示-非継続事業）に従い、従来継続事業であったオリックス銀行の事業を当中間連結会計期間より非継続事業に分類しています。セグメント情報は当該非継続事業を含まない継続事業のみの金額を表示しており、前中間連結会計期間および前連結会計年度末についても当該変更を反映しています。非継続事業の詳細については、（８）「非継続事業に関する注記」をご参照ください。

前中間連結会計期間および当中間連結会計期間のセグメント情報は以下のとおりです。

前中間連結会計期間					
	APAC（百万円）	インフラ（百万円）	欧米（百万円）	保険（百万円）	合計（百万円）
金融収益	76,931	8,637	52,738	72	138,378
有価証券売却・評価損益および受取配当金	3,041	21,446	17,238	－	41,725
オペレーティング・リース収益	235,545	75,830	1,038	－	312,413
生命保険料収入および運用益	－	－	－	300,947	300,947
商品および不動産売上高	137,210	67,052	575	－	204,837
サービス収入	102,821	279,724	146,681	－	529,226
セグメント収益（合計）	555,548	452,689	218,270	301,019	1,527,526
支払利息	26,994	20,925	25,245	259	73,423
オペレーティング・リース原価	163,362	38,933	1,297	－	203,592
生命保険費用	－	－	－	221,076	221,076
商品および不動産売上原価	96,692	56,424	267	－	153,383
サービス費用	62,677	203,706	34,632	－	301,015
その他の損益 ※	5,836	△7,017	2,953	△3	1,769
販売費および一般管理費	111,406	43,029	123,649	28,857	306,941
信用損失費用、長期性資産評価損、有価証券評価損	4,421	473	7,059	△26	11,927
セグメント費用（合計）	471,388	356,473	195,102	250,163	1,273,126
持分法投資損益等	41,545	104,792	△2,892	△0	143,445
セグメント利益	125,705	201,008	20,276	50,856	397,845
重要な非現金項目					
減価償却費・その他償却費	139,552	42,481	4,082	12,195	198,310
保険契約債務および保険契約者勘定の増加額	－	－	－	196,700	196,700
長期性資産支出額	219,972	168,945	2,100	102	391,119

※その他の損益は、ファイナンス・リースに係る税金や保険料等の費用、営業権および無形資産減損、デリバティブ損益、為替差損益等です。

当中間連結会計期間					
	APAC（百万円）	インフラ（百万円）	欧米（百万円）	保険（百万円）	合計（百万円）
金融収益	76,638	14,807	53,243	74	144,762
有価証券売却・評価損益および受取配当金	△1,609	△159	81,151	－	79,383
オペレーティング・リース収益	244,028	81,332	2,596	－	327,956
生命保険料収入および運用益	－	－	－	313,593	313,593
商品および不動産売上高	161,602	68,041	1,628	－	231,271
サービス収入	130,034	237,858	207,911	－	575,803
セグメント収益（合計）	610,693	401,879	346,529	313,667	1,672,768
支払利息	32,015	22,005	28,684	254	82,958
オペレーティング・リース原価	170,597	39,386	2,782	－	212,765
生命保険費用	－	－	－	226,902	226,902
商品および不動産売上原価	117,658	55,949	939	－	174,546
サービス費用	85,810	185,390	45,211	－	316,411
その他の損益 ※	11,155	△3,648	△9,409	1	△1,901
販売費および一般管理費	123,381	46,138	183,958	29,346	382,823
信用損失費用、長期性資産評価損、有価証券評価損	2,273	453	△241	79	2,564
セグメント費用（合計）	542,889	345,673	251,924	256,582	1,397,068
持分法投資損益等	848,610	25,873	△2,794	△0	871,689
セグメント利益	916,414	82,079	91,811	57,085	1,147,389
重要な非現金項目					
減価償却費・その他償却費	152,113	42,840	6,642	13,913	215,508
保険契約債務および保険契約者勘定の増加額	－	－	－	123,224	123,224
長期性資産支出額	237,710	219,601	76,062	255	533,628

※その他の損益は、ファイナンス・リースに係る税金や保険料等の費用、営業権および無形資産減損、デリバティブ損益、為替差損益等です。

前連結会計年度末および当中間連結会計期間末現在のセグメント情報は以下のとおりです。

前連結会計年度末					
	APAC （百万円）	インフラ （百万円）	欧米 （百万円）	保険 （百万円）	合計 （百万円）
リース純投資	1,194,048	52,913	433	－	1,247,394
営業貸付金	680,872	35,097	757,103	15,191	1,488,263
オペレーティング・リース投資	1,118,843	976,673	39,605	25,457	2,160,578
投資有価証券	80,956	154,105	618,885	2,288,116	3,142,062
事業用資産・サービス資産	119,002	656,847	82,749	－	858,598
棚卸資産	45,020	223,164	699	－	268,883
賃貸資産前渡金	11,317	78,924	－	－	90,241
持分法投資	457,931	685,773	71,582	46,002	1,261,288
事業用資産前渡金	4,001	123,899	－	－	127,900
営業権、企業結合で取得した無形資産	384,231	221,750	690,949	4,452	1,301,382
その他の資産 ※	624,640	365,927	479,026	819,052	2,288,645
セグメント資産	4,720,861	3,575,072	2,741,031	3,198,270	14,235,234

※その他の資産は、現金および現金等価物、使途制限付現金、信用損失引当金、受取手形、売掛金および未収入金、社用資産、連結会社貸付金、再保険貸、および生命保険繰延契約費等を含んでいます。

当中間連結会計期間末					
	APAC （百万円）	インフラ （百万円）	欧米 （百万円）	保険 （百万円）	合計 （百万円）
リース純投資	1,192,932	36,065	1,825	－	1,230,822
営業貸付金	645,638	37,425	835,600	16,255	1,534,918
オペレーティング・リース投資	1,130,077	1,042,058	107,837	25,870	2,305,842
投資有価証券	95,933	152,193	458,618	2,265,348	2,972,092
事業用資産・サービス資産	88,514	669,735	85,712	－	843,961
棚卸資産	47,053	231,894	996	－	279,943
賃貸資産前渡金	14,431	58,192	－	－	72,623
持分法投資	1,198,833	705,094	77,343	47,620	2,028,890
事業用資産前渡金	204	126,177	－	－	126,381
営業権、企業結合で取得した無形資産	364,295	224,187	665,063	4,452	1,257,997
その他の資産 ※	571,915	343,309	517,622	847,571	2,280,417
セグメント資産	5,349,825	3,626,329	2,750,616	3,207,116	14,933,886

※その他の資産は、現金および現金等価物、使途制限付現金、信用損失引当金、受取手形、売掛金および未収入金、社用資産、連結会社貸付金、再保険貸、および生命保険繰延契約費等を含んでいます。

セグメント数値と中間連結財務諸表との調整は以下のとおりです。

	前中間連結会計期間 （百万円）	当中間連結会計期間 （百万円）
セグメント収益		
セグメント収益合計	1,527,526	1,672,768
本社部門保有の資産にかかる収入	38,104	42,797
内部取引消去	△38,031	△41,690
中間連結財務諸表上の営業収益	1,527,599	1,673,875
セグメント利益		
セグメント利益合計	397,845	1,147,389
本社部門の損益	△23,140	△35,559
非支配持分および償還可能非支配持分に帰属する税引前中間純利益	4,246	6,050
中間連結財務諸表上の継続事業からの税引前中間純利益	378,951	1,117,880

（８）非継続事業に関する注記

当社は、2026年４月27日、当社の連結子会社であるオリックス銀行の全持分を株式会社大和ネクスト銀行へ譲渡することを決定し、同社と株式譲渡契約を締結しました。本契約に基づき、2026年８月３日に株式譲渡が完了しました。本譲渡により、当中間連結会計期間において、オリックス銀行は当社の連結範囲から除外されています。

当該株式譲渡の決定に伴い、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書205-20（財務諸表の表示-非継続事業）に従い、オリックス銀行の事業を売却目的保有に分類するとともに、非継続事業に分類しています。

当該分類に伴い、中間連結貸借対照表において、オリックス銀行の事業にかかる過年度の資産および負債をそれぞれ「非継続事業にかかる売却目的保有資産」および「非継続事業にかかる売却目的保有負債」として組替再表示しています。また、中間連結損益計算書において、オリックス銀行の事業にかかる利益を継続事業から区分して「非継続事業」として表示するとともに、オリックス銀行の事業にかかる過年度の利益についても組替再表示しています。

当中間連結会計期間において、当該株式譲渡に係る利益124,295百万円を非継続事業からの税引前中間純利益に計上しています。

前連結会計年度末および当中間連結会計期間末現在における、売却目的保有に分類された非継続事業にかかる資産および負債の内訳は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 （2026年３月31日）	当中間 連結会計期間末 （2026年９月30日）
現金および現金等価物	319,586	－
使途制限付現金	2,025	－
営業貸付金	2,685,320	－
信用損失引当金	△3,852	－
オペレーティング・リース投資	0	－
投資有価証券	166,331	－
持分法投資	2,239	－
受取手形、売掛金および未収入金	826	－
社用資産	13,890	－
その他資産	9,037	－
非継続事業にかかる売却目的保有資産 合計	3,195,402	－
短期借入債務	28,100	－
預金	2,623,225	－
支払手形、買掛金および未払金	1,013	－
未払法人税等	3,712	－
長期借入債務	166,600	－
その他負債	120,438	－
非継続事業にかかる売却目的保有負債 合計	2,943,088	－

前中間連結会計期間および当中間連結会計期間における、非継続事業からの中間純利益の内訳は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業収益		
金融収益	39,641	27,634
有価証券売却・評価損益および受取配当金	△3,975	0
サービス収入	1,233	831
営業収益計	36,899	28,465
営業費用		
支払利息	8,782	8,126
サービス費用	3,529	2,538
その他の損益	10	△24
販売費および一般管理費	11,916	9,742
信用損失費用	207	105
長期性資産評価損	―	6,827
営業費用計	24,444	27,314
営業利益	12,455	1,151
持分法投資損益	79	△74
子会社・持分法投資売却損益および清算損	△3	124,295
非継続事業からの税引前中間純利益	12,531	125,372
法人税等	3,960	35,830
非継続事業からの中間純利益	8,571	89,542

（９）重要な後発事象

該当事項はありません。